

クラウドコンピューティングデータロガー

三菱シーケンサから収集したデータをクラウドコンピュータにロギング

クラウドコンピューティングデータロガー DCCDL-UNI は、三菱シーケンサからデータを収集し、収集したデータをクラウドコンピューティングである Google Drive の Google ドキュメント™ に保存します。Google ドキュメント™ に保存したロギングデータはインターネットに接続できる環境であれば世界中どこからでも Web ブラウザ経由で閲覧可能です。ロギングデータを Google ドキュメント™ に保存するため専用サーバが不要となり、導入コスト及び運用後の管理コストを削減します。Google ドキュメント™ の共有機能により、多拠点間での最新ロギングデータの共有を実現します。DCCDL-UNI のロギング設定も Google ドキュメント™ に保存するため Web ブラウザ経由で読み出し可能です。

クラウドコンピューティングデータロガー インターネット

DCCDL-UNI クラウドコンピューティング 利用



3B

操作ユニット

クラウドコンピューティング利用
専用サーバ不要、導入・管理コスト削減
Web ブラウザによる設定：パソコンへの専用アプリケーションのインストール不要
オフライン時データ保護機能
：インターネットが切断された場合でもデータを蓄積し、接続復帰後に蓄積データをロギング
設定読み出し機能
：Google ドキュメント™ にロギング設定を保存しているため、以前のロギング設定が使用可能
SNTP 機能搭載
最大ロギングデバイス数：192点 トリガデバイスも含む
ロギング回数：無制限（Google ドキュメント™ の仕様により変更される場合があります）
収集間隔：1～604,800秒（7日間隔）
通信環境や設定されたロギングデバイス数により、Google ドキュメント™ への転送が遅れる場合があります
ロギング可能デバイス：【ワードデバイス】SD、D、W、T(TN)、ST(SN)、C(CN)、SW、Z、R、ZR
データ型：10進数・文字列表示
【ビットデバイス】SM、X、Y、M、L、F、B、SB、DX、DY
データ型：2進数(0または1)

ロギング種別：連続ロギング、トリガロギング
トリガロギング（種類）：【デバイストリガ】比較（デバイス同士）、比較（定数、ON/OFF）、変化
【時刻トリガ】定周期（秒指定）、時刻指定（月、日、時、分、秒指定）
トリガロギング（条件）：デバイストリガのみ、時刻トリガのみ、デバイストリガと時刻トリガの併用

LAN用ケーブル P.10 LAN用ケーブル/コネクタ加工 P.61

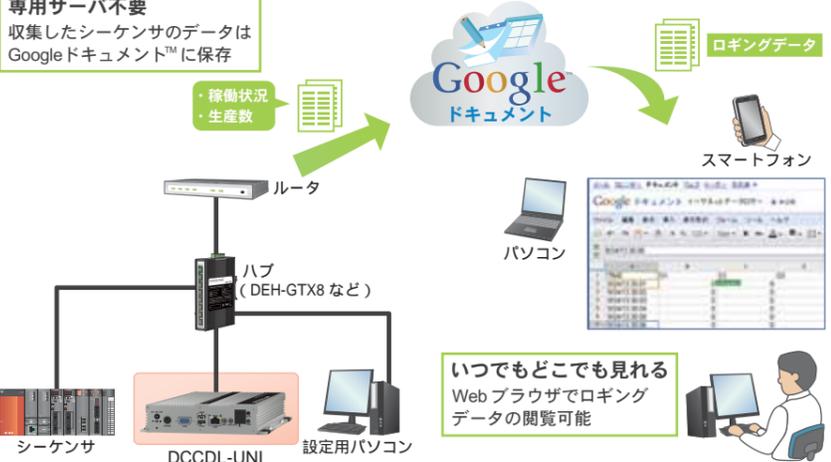
デモ機貸出 www.diatrend.com

アクセス可能シーケンサ

CPU	Q03UDEHCPU、Q04UDEHCPU、Q06UDEHCPU、Q10UDEHCPU、Q13UDEHCPU、Q20UDEHCPU、Q26UDEHCPU、Q50UDEHCPU、Q100UDEHCPU
ユニット	L02CPU、L26CPU
ユニット	QJ71E71-100

接続例

専用サーバ不要
収集したシーケンサのデータは Google ドキュメント™ に保存



いつでもどこでも見れる
Web ブラウザでロギングデータの閲覧可能

Google ドキュメント™ とは

Google が無料で提供する Web ブラウザで動く文書 / 表計算 / プレゼンテーション機能ソフト。Google ドキュメントデータは Google のサーバに保存されます。インターネットに接続できる環境であれば Web ブラウザ経由でどこからでも使用可能です。

会社
例 デスクトップパソコンで資料を作成し保存

ソフトウェアのインストール不要
複数人でのリアルタイムの共同編集可能
実質無料で導入可能
一般的なドキュメント作成ソフトウェアより低価格

外出先
スマートフォンやタブレット端末等から閲覧・編集可能

端末に依存することなく閲覧可能
バージョン管理不要
運用コスト削減

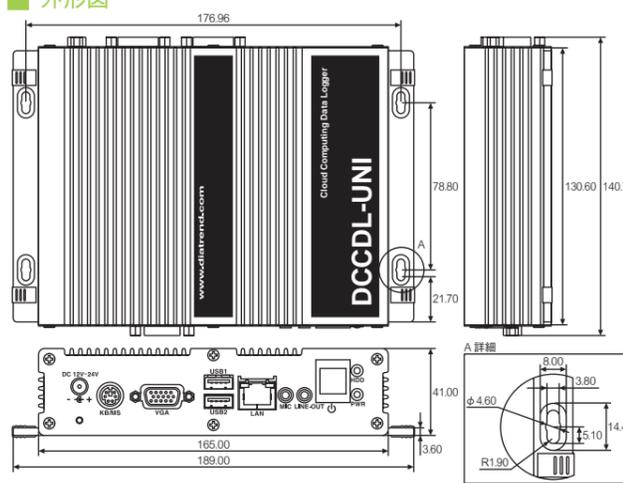
Google ドキュメント™ の使用には Google アカウントが必要です

仕様

イーサネット	LAN 10/100/1000Mbps
アクセス可能シーケンサ	CPU Q03UDEHCPU、Q04UDEHCPU、Q06UDEHCPU、Q10UDEHCPU、Q13UDEHCPU、Q20UDEHCPU、Q26UDEHCPU、Q50UDEHCPU、Q100UDEHCPU ユニット QJ71E71-100
対応 Web ブラウザ	Internet Explorer6.0 以上 設定時対応ブラウザ 1
電源	本体 DC12V ACアダプタ AC100～240V 操作ユニット 本体から供給
消費電力 / 最大電力	8W/11W
動作温度	0～55
保存温度	-40～85
動作湿度	0～95% RH、結露なきこと
保存湿度	0～95% RH、結露なきこと
質量	本体 1.15kg 操作ユニット 20g

1：Google ドキュメント™ は Google ドキュメント™ 対応のブラウザで使用可能です

外形図



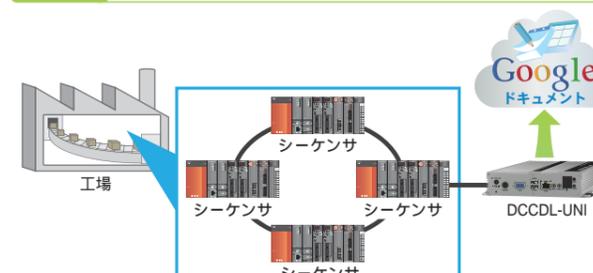
単位：mm

DCCDL-UNI 活用例 クラウドコンピューティングの特色を利用

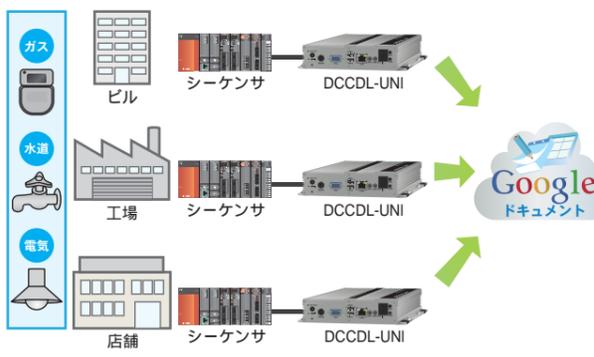
農園 ビニルハウス、貯蔵庫の温度・湿度を管理
遠隔地からもアクセス可能、過去のロギングデータも閲覧可能



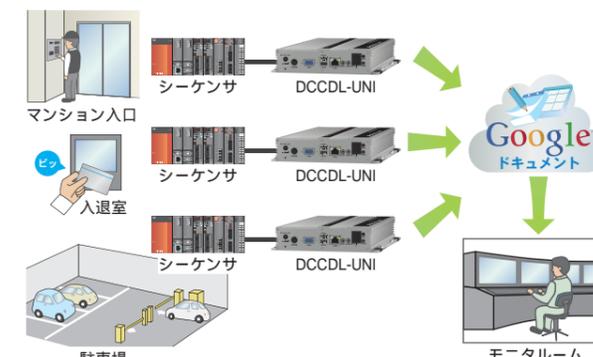
工場 工場付帯設備稼働状況、生産管理状況をロギング
稼働状況、品質情報、異常発生情報のロギングファイルを蓄積することにより、トレーサビリティを確保
不具合があった場合にも迅速に対応



エコ 省エネ ビル・工場・店舗での省エネ
エネルギーの削減には、電力等の使用量計測・確認が必要
フロア別、各部門、店舗別のエネルギーデータを収集・蓄積し
効率的な削減の実施可能



セキュリティ マンション入口や企業ビルでの社員入退室、駐車場のロギング
データを警備会社モニタールームで一括監視



DCCDL-UNI について動画で紹介 ▶ http://www.diatrend.com/seihin_movie.htm

簡易データロガー

シリアルポートに差し込むだけでデータ収集可能

MELSEC-QCPU 対応簡易データロガー DDLM-QR2 は MELSEC-QCPU のシリアルポートに接続するだけで簡単にデータ収集できます。ロギングデータは csv ファイル形式で出力でき、汎用表計算ソフトでそのままデータ解析 & グラフ化が可能です。ローコストかつ手軽に現場の情報化を実現します。

▶ エラー発生原因追求に
ロギングデータを解析することにより稼働状況・異常発生を的確に知ることが出来ます。

▶ 生産性の向上、コストダウンを実現
収集データをもとに生産状況を正確に把握し業務改善に活用できます。

MELSEC-QCPU 対応簡易データロガー

DDL M-QR2 RS-232C



アクセス可能シーケンサ
CPU Q02HCPU、Q06HCPU、Q12HCPU、Q25HCPU

コネクタ形状
FA 機器側
ミニ DIN6P オス

Windows 7/Vista/XP 対応（32bit 版）
アクセス可能デバイス
：X0～1FFF、Y0～1FFF、M0～8191、D0～12287、C(CN)0～1023
収集間隔：1～65,535秒（1秒単位で設定可能）
デバイス点数により収集間隔が延びる場合があります
総デバイス点数：X、Y、M デバイス 208点・D、C(CN) デバイス 200点
保存ファイル形式：csv ファイル形式
ロギング条件を設定できるユーティリティソフト付属 1
MicroSDHC™ カード（4GB）付属 2
MicroSD™/MicroSDHC™ カードリーダー/ライター付属

デモ機貸出 www.diatrend.com

使用方法

Step 1 ロギング条件設定



付属ソフト DDL M-QR2 Setup Utility でロギング条件を設定し microSDHC™ カードに保存します。

Step 2 ロギング



microSDHC™ カードを挿入した DDL M-QR2 を MELSEC-QCPU のミニ DIN6P ポートに接続し、ロギングします。

Step 3 ロギング完了



ロギングデータは csv ファイル形式で保存されます。

csv ファイル形式で保存し
汎用表計算ソフトで
読み出し可能

解析 グラフ化 可能 !!

1：DDL M-QR2 Setup Utility の使用には「.NET Framework2.0 以上」が必要です
2：製品付属または弊社より販売の MicroSD™/MicroSDHC™ カードのみ動作保証しております